



光 和

3月号
練馬区立光和小学校
令和7年2月28日

光和小
携帯サイト



開花に向けて

校長 矢島 直行

令和6年度も残り1か月となりました。日差しが暖かくなるとともに日が長くなり、身近なところで春の訪れを感じることができます。

校庭の桜の蕾も膨らみ、花を咲かせようと準備をしています。春に花咲く桜の蕾は、いつできるのでしょうか。蕾のもとになる花芽は前年の夏までに形成されます。そして、秋にいったん休眠状態に入ります。この花芽が眠りから覚め、開花へ向けて本格的に生成を開始するには、冬の寒さにさらされなければなりません。冬の低温が刺激となり、花芽の生長を促します。そして、眠りから覚めた花芽は、早春の気温上昇とともに、さらに膨らみやがて開花していきます。春に美しく花開くために、桜は前年の夏から準備をし、厳しい冬があつて春の開花を迎えるのです。美しく咲き誇る花は、長い時間をかけて力を蓄えた賜物です。何事も準備を怠らず、蓄えた力を発揮することで花開くのです。校庭には、コロナ禍1年目の年に移動教室が中止になった6年生が記念に植樹した桜の木があります。その桜の木も開花を繰り返し、少しずつ大きく生長しています。

子供たちの成長にも同じことが言えるのではないのでしょうか。この1年間を振り返りますと、遠足、水泳、移動教室、運動会、音楽会などの様々な行事がありました。一つ一つの活動では、時には厳しい試練もあったかと思いますが、頑張ったからこそ大きく成長することができました。簡単にできることばかりで満足するのではなく、目標に向かって困難な壁を乗り越えてこそ、大きく成長することができます。

卒業を迎える6年生の卒業文集の下書きを読んでいますと、小学校生活での思い出として多くの子供たちが、「移動教室」と「マーチング」を書いています。6年生の軽井沢移動教室と5年生の岩井移動教室での生活は、子供たちにとって忘れることができない思い出となっています。楽しかったことだけではなく、係の仕事に責任をもって取り組んだり、頑張ったりしたことから多くのことを学ぶことができたことが伝わってきます。また、マーチングでは、運動会に向けて一生懸命に練習を積み重ねてきたことがよく分かります。マーチングは自分一人だけで演奏するのではなく、学年全員が心と動きを合わせなければなりません。そのような高いハードルを見事乗り越えることができました。「将来の夢」について書いている子供たちもいます。何かを成し遂げるためには自分で考え、努力と実現させようとする強い意志が大切です。卒業する6年生には、本校で学んだことを生かしなが、自分の夢に向けて努力を積み重ね、挑戦し、大きな花を咲かせてくれることを願っています。小学校生活では3年間コロナ禍で教育活動が中止や変更となり、今できることを工夫しながら取り組みました。我慢しなければならないこともあったかと思いますが、これから困難な状況に出会うことがあるかもしれませんが、この経験を生かして乗り越えていくことができると信じています。

本年度も残り1か月です。「もう、あと1か月しかない」ではなく、「まだ、1か月ある」と考えると時間を計画的に活用することができます。卒業する6年生だけではなく、1年生から5年生のみなさんも残りの1か月となる3月を計画的に取り組み、これまで積み重ねてきた力を発揮し、春に満開の花を咲かせてくれることを楽しみにしています。